

大妻中学高等学校

市進学院主催 学校訪問会レポート
2018年 6月 14日 (木)

2018年6月14日、梅雨の合間の晴れ間がのぞく穏やかな天候の中、大妻中学校の学校訪問会が行われました。

校舎は改修されてすでに10年ほどが経つとのことでしたが、とてもきれいに保たれています。



成島校長より、「本校では、『恥を知れ』という校訓のもと、社会で50年輝き続ける女性の育成を目指している。女子校ならではの利点をいかしつつ、未来を担う子どもを育て、未来を創るための教育を進めたい。」

また、赤塚教頭より「きめ細やかな進路学習プログラムや無料の講習講座の充実もあり、2018春は国公立大の合格者や、理系、特に医歯薬系の合格者が大きく増えた。また、英語外部検定試験を全員が受検するなど、2020年度以降の大学入試改革への対応も進んでいる」とのお話がありました。

入試広報部主任の長谷先生からは、2019年春の入試についてお話があり、「2月5日に第4回の入試を新設する。『最後まであきらめない受験生』に来てもらいたい」とのことでした。

説明会のあとは校内見学。清閑な中に、活発な授業の音が聞こえてきました。

きれいな図書室やアリーナ(体育館)、カフェテリアなど、立派な施設を見学することができました。

また、希望者を対象に、個別相談の時間も設けていただきました。



先生方の熱心な説明に、参加された保護者の皆様は聞き入っていました。また、校内見学では、授業中に活発に発言をする在校生のみなさんが印象的でした。参加された保護者の方からは、「校長先生の女子校の魅力についてのお話が印象的だった」「学習面でもきめ細かい指導がされていることがわかった」「学校案内のパンフレットではわからない“生”の大妻中を知ることができてよかった」とのご感想をいただきました。